

令和4年5月20日

記録：関根 浩

令和4年度 第1回 教育課程編成委員会 議事録

1. 日時 令和4年5月17日(火) 13時30分
2. 場所 大川学園医療福祉専門学校 2階会議室
3. 出席者 小林健一（つつじの園施設長）
森保博子（飯能市基幹型包括支援センター管理者）
平澤淳校長 岡村忠彦教務部長 星野成美介護福祉学科長
高松浩之介護福学科教務主任 関根浩学務部長

4. 議題

- ① 校長挨拶
- ② 委員委嘱状交付
- ③ 教育課程編成に係る現状と課題等
- ④ 事務連絡他
- ⑤ その他

5. 校長挨拶

本日は、お忙しい中、お越しいただきまして誠にありがとうございます。対面での教育課程編成委員会とさせていただきます。4月に入学した1年生は段々と慣れてきたようです。介護実習では、新型コロナウイルスの関係でスムーズにいけない点もありますが、早く普通どおりに戻って欲しいと願っています。本日は、どうぞご意見をよろしくお願い致します。

6. 教育課程編成に係る現状と課題等

①国家試験

32名受験で16名が合格しました。内訳として、日本人が12名中9名、留学生は20名中7名が合格致しました。今回受験した留学生は、授業中でも居眠りをしていたり、国家試験対策の補講を受けずに帰宅してしまったり、出席しても一生懸命さがないうし、「とりあえず卒業すればいいんだ」という留学生もいたり、押してもダメなら引いてもダメでした。そんな留学生でしたが、国家試験が不合格という結果にいざなってみると、後になって反省して残念だったという気持ちになったようでした。

②1年生の動向

1年生は、本科生15名（うち内部進学5名）・委託訓練生3名・留学生17名（男5名・女12名）・留年生1名の合計36名です。留学生の国籍は、中国3名・ベトナム6名・インドネシア6名・カンボジア1名・韓国1名です。中でも、インドネシアの留学生達は、前向きな勉強態度です。まだ、韓国の留学生が入国出来ていない為、毎日日本人とZoomで対応しています。韓国の留学生については、日本でワーキングホリデーとして働いていた過去があります。日本語は韓国にてリモート授業を受講していた

ようです。実際のところ、前期半分の授業が終わっている状況で本人が理解できるのか不安でもあり、また、日本の生活も慣れるまで大変だと思いますが、只今、入国待ちの状況となっています。

③2年生の動向

2年生は、本科生 14 名・委託訓練生 3 名・留学生 20 名(男 2 名・女 18 名)・留年 1 名・除籍 1 名の合計 36 名です。また、昨年度に進路変更&体調不良によって退学した学生が 7 名いました。

④学科テーマ「感性豊かな介護福祉士の育成」

利用者の気持ちに寄り添える…また、利用者の気持ちを察する能力を育成していくことをテーマに教職員一丸となって行っています。

昨年度の学生達の様子を見てみると、留学生同士でフォローし合っている姿が見受けられました。介護実習では、新型コロナウイルスの関係により、途中で中止になってしまった学生に関しては、学内で行う校内実習によってサポートしました。実際の介護施設等での介護実習と学内での校内実習とでは、介護施設等での介護実習を行った方が、学びが大きく学生達も成長して戻ってくることが出来ました。これから始まる介護実習に際し、介護施設等での実習を行えるように只今準備をしています。

⑤校内研修

今年度は、笑いヨガ、認知症 VR 体験、認知症サポーター研修、アンガーマネジメント、タクティールケア、福祉美容、学生達に犬を介して学んでもらおうと聴導犬・介助犬、マナー研修等の研修を企画検討しています。

⑥校外研修

力を入れていきたい「国際福祉機器展」や「介護の学校」、テキストを学ぶだけでなく地域での活動も行っていきたいと考えています。

⑦国家試験

試験内容が変更になる為、国家試験対策にも更に力を入れていきます。放課後には、国家試験対策の補講を行っています(自主的な参加。)

⑧施設との連携(留学生)

留学生の育成が難しいところがあり、保証人となっている施設との連携をしっかりと図っていききたいと考えています。

⑨教員体制

- ・今年度より、介護福祉士と看護師の資格を取得している教員が医療系授業を担当しています。
- ・専任教員 2 名が都立高校へ福祉の授業を教えに行っています。

⑩年間行事

昨年度も中止になった行事が多々あるが、世間では with コロナの流れもあり、ここ数年実施していなかった「学園祭」を、現段階では行う方向となっています。

7. 助言・意見・アドバイス・質問等

- ・留学生が国家試験に受験しただけでも凄いのに、合格したことはもっと凄い。今後も、

先輩から後輩へ受け継いでいていただきたい。飯能市も留学生が活躍することで盛り上がるのではないかとと思われる。

- ・学校で新しいことを始める大変な時期、日本人でも分からなくなってしまうこの時期、そして留学生への学校でのフォローと…先生方は大変だと思われる。
- ・日本人学生の声掛けコミュニケーションについて、自分からは声を掛けずに待っている方が多い傾向です。一方、留学生は明るい学生が多く、介護実習では、利用者様に可愛がられたり、利用者様とよくコミュニケーションをとっていることにより、利用者様からも間違いを指摘されたりしていたようです。介護実習中での留学生へのクレームに関しては、ほとんど無くクリア出来ているが、日本人学生の方が、クレームが多かったです。
- ・マスクをしているので表情がわからないことが多いが、話をしなくてもSNS等でコミュニケーションをとっているのが自然に会話が少なくなる傾向になっているように感じる。今は、マスクをしながら介助等をするので、真摯な態度で誠意をみせることが一番大事である。どうか自分自身を活かしていただきたい。
- ・指導する側からは、とても良い学生は多いのですが、何も考えていない学生が多くみられます。打たれ弱いせいか、指導のために怒ったりすると、すぐ落ち込んだり、学校を辞めると言ったり…なかなか注意しづらいこともあります。自分が浮いていると思ってしまう学生もいます。そして、字が書けない学生もいます。
- ・大川学園の卒業生と一緒に同行訪問をしたが、先輩のマネをしながらモチベーションが下がらず一生懸命頑張っている。
- ・日頃から留学生には、日本語を上達させるため日本人学生とお話しなさいと言っています。グループワークを行ったりするとコミュニケーションをとりながら協力し合っている姿がみられます。プライベートでは、あまり日本人学生と遊ぶ機会は少ないです。
- ・留学生は、放課後に日本語の授業を行っています。そのこともあり、留学生の中では、国家試験の問題用紙に、ふりがな付きは必要ないという留学生も出てきています。
- ・飯能市の65歳以上の高齢者率は約32%。介護職として飯能市に就職していただきたい。そしてケアマネージャーの方も少ないのが現状である。狭山市にも介護職として就職していただきたい。
- ・ここ数年、新型コロナウイルス感染防止の為に行われていなかった飯能市主催の「ひとり歩きやさしい声かけ訓練」が実際に開催される場合には、ご協力願いたいと考えています。飯能市の地域サポーターとして活躍いただきたい。
- ・後日、『医療と介護の連携ハンドブック』多職種連携座談会飯能・日高地区ワールドカフェ版」を大川学園医療福祉専門学校へ持参します。

8. 次回開催予定 令和5年2月27日(月) 13時30分 2階会議室

令和 5 年 3 月 10 日

記録：関根 浩

令和 4 年度 第 2 回 教育課程編成委員会 議事録

- 1 日時 令 5 年 2 月 27 日(月) 13 時 30 分
- 2 場所 大川学園医療福祉専門学校 2 階会議室
- 3 出席者 小林健一 (つつじの園施設長)
森保博子 (飯能市基幹型包括支援センター管理者)
平澤淳校長 星野成美介護福祉学科長
岡村忠彦教務部長 関根浩学務部長

4. 校長挨拶

本日は、お忙しい中、お越しいただきありがとうございます。2 年生は、3 月 9 日(木)が卒業式、3 月 24 日(金)が国家試験の合格発表日となっています。本日は、色々
とご意見をお願い致します。

5. 教育課程編成に係る現状と課題等

①在籍数

現在 1 年生は 35 名、1 名留学生で入国出来なかったため退学しています。35 名のうち体調不良による者 1 名と、精神的に通えなくなった者が 2 名の合計 3 名が休学しています。35 名の内訳として、日本人 15 名 (うち内部進学者 5 名)・委託訓練生 3 名・留学生が 16 名 (うち男 4 名・女 12 名) の比較のおとなしいクラスの雰囲気となっています。

②令和 4 年度国家試験受験状況報告

国家試験は 37 名中 36 名が受験しました (1 名は本人の希望により受験せず)。内訳は日本人が 16 名・留学生が 20 名受験し、昨年度までとは違い、表現の仕方、言い回しが易しい問題が多かったように感じました。全問題 125 問中 100 点を超えている留学生もいます。例年の状況から見ると合格ラインは 79 点の辺りではないかと思われるが、留学生が自己採点で 75 点が 2 名、40 点台が 1 名と際どい留学生もいるが、その他の学生達は、80 点越えをしています。

③学生の動向や今年度の授業・実習等について

感性豊かな学生を育てることを目的としているが…

- ・今までコロナ禍により出来なかった調理実習を行いました。各班ごとに役割分担をしながら協力し合っていたこともあり、クラス内の雰囲気が良い方向へ変化したように感じました。
- ・東京ビッグサイトでの国際福祉機器展へ見学に行き、自分の目で福祉機器などを見ることができ、現地まで行くまで学生達は嫌がっていましたが、実際に行けたことは勉強にもなり良かったと思いました。
- ・飯能市地域包括支援センター様のご協力により認知症サポーター養成講座を実施

致しました。

- ・実習では、受け入れに際し、断られることは少なくなったが、本人は感染していないが、施設内でのコロナ感染等により、実習が中断となってしまうたり、途中でフロアを変えて行ったりということがありました。影響を受けた学生は、2年生4名、1年生10名程度いました。
- ・外部模試を行い、その結果が各自に届いた時、点数しか見ておらず、どこがどのように間違えたのかなどの結果の見方が分からなかったようでした。
- ・「レクリエーション支援法」の授業内のレクリエーション発表会や、「実習報告会」の論文発表等の資料をまとめることは、国家試験とは関係ないので無駄なことだという考え方をしている学生もいました。
⇒ 点数だけでは駄目だと思います。

④留学生

現在、日本語のレベル別に分かれて勉強しています。1年生でしっかりと勉強してもらい、2年生で国家試験に合格してもらうような対応をしています。そのこともあり、2年生になると日本語がスムーズになってくるが、1年生はZoom面接で入学をする留学生もいるため、日本語はなかなか厳しい状態です。

⑤令和5年度に向けて

- ・留学生に関しては、管理をしている施設とのやり取りを、こまめに連絡し合おうと考えています。
- ・コロナ禍前にも行っていた、介護施設様へ出向き、実際にレクリエーションを行おうと考えています。
- ・学校周辺のゴミ拾いを行おうと考えています。
- ・地域行事に参加していこうと考えています。

6. 就職情報・学生アンケート結果等

①就職情報

コロナ禍でもあったため、「job Café Ohkawa」は中止とはなりましたが、教員や就職担当が学生1人ひとりと向き合い就職指導を行った結果、37名全員が就職内定を勝ち取ることが出来ました。また、初めてなことでしたが、就職担当から介護施設等へ障害者枠での雇用が出来ないかをお願いをし、うち2名は、障害者雇用枠での内定もいただくことも出来ました。

コロナ禍の為「job Café Ohkawa」を行わないこともあり、1年生のうち十数名は、明日2月28日(火)の「福祉の仕事地域就職相談会(飯能)」に参加致します。

②学籍関係

現在、2名の退学届を受理しています。国別留学生は、ベトナム21名、インドネシア8名、中国4名、ネパール2名、カンボジア1名の合計36名です。

新1年生の状況は、3月5日(日)がWeb出願日なので途中ですが、柔道整復学科23名、介護福祉学科37名、合計60名以上となる予定です。なお、辞退者が介護福祉学科に1名いての37名です。

③学生アンケート調査結果

昨年12月から今年の1月にかけて、学生達にアンケートを実施しました。中には、厳しい意見もありましたが、検討する項目等については、運営委員会や職員会議等にて教職員で話し合いをしていきたいと考えています。また、(4)の「あなたが本校に決めた理由…」という質問の回答を令和5年度の広報活動に活かしていきたいと考えています。

7. 質疑応答等

- ・コロナ禍の中でのイベント・行事等は大変だと思いますが、学生達も期待していると思いますので、先生方もご苦労ですけど頑張ってください。
- ・留学生の報告が多いので、国の対応も遅いし、対応が大変なんだなあと思い聞いていました。
- ・日本人と留学生は仲良く交流できていますか？

⇒ はい。問題ございません。留学生が日本人に「これ、どういう意味？」と質問されるので答えてあげていたり、違うページを開いていると「違うよ！ココだよ！」と言ってあげたり、助け合いながら学校生活をしています。グループワーク時でも問題なく話し合いができています。ランチ時は、国ごとに固まって食べていることが多いですが、カンボジア・ベトナム・インドネシアの学生同士で仲良く帰宅したりしています。

8. 次回開催予定 令和5年5月18日(木) 13時30分 2階会議室
1カ月前頃に通知でお知らせ致します。